ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　114　号
２０１６．２．29

目　次

2016年度　北海道考古学会総会・研究大会の開催について……1
2016年度総会について……1
2016年度研究大会「北海道における近現代考古学の今後」……1
2016年度研究大会は登別市教育委員会との共催に……2
2015年度　遺跡調査報告会の実施報告……2
月例研究会のお知らせ……3
事務連絡……3
新入会者のお知らせ……3
会員情報募集……4
ホームページのリニューアルについて……4
会費納入についてのお願い……4

2016年度　北海道考古学会総会・研究大会の開催について

2016年度　総会について

2016年度総会を研究大会の開会前に同一会場にて開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会ですので、多くの会員の出席を期待します。なお、やむをえず欠席される予定の会員は、４月７日(木)（事務局必着）までに必ず委任状を提出されるようお願いいたします。

日　時：2016年４月30日(土)　11：00～12：00
会　場：登別市民会館（登別市富士町７丁目33番地）

2016年度研究大会
「北海道における近現代考古学の今後」

日　時：2016年４月30日(土)　13：00～17：30（５月１日にはエクスカーションを予定しています）
会　場：登別市民会館（登別市富士町７丁目33番地）
交　通：JR幌別駅西出口から徒歩約18分
（送迎バスの有無・申込方法は、詳細が決まり次第ホームページにてお知らせいたします）
共　催：登別市教育委員会
テーマ：「北海道における近現代考古学の今後」
日　程：
（４月30日）

10：30	開　場
11：00～12：00	北海道考古学会総会
12：00～13：00	昼休み
13：00～13：15	開　会　開会の言葉（大島会長・小笠原登別市長）
13：15～14：15	田才雅彦氏（ヘリテージマネージャー） 「北海道における近世・近代の遺跡調査と今後の可能性」
14：15～14：45	石渡一人氏（別海町郷土資料館） 「交通の要所―野付通行屋敷と史跡旧奥行臼駅逓所―」

14：45～15：15　菅野修広氏（登別市教育委員会）
「ゴミ穴から見える近代アイヌの物に対する認識変化―伊達市有珠善光寺２遺跡から―」
15：15～15：30　休　憩
15：30～16：00　野村祐一氏（函館市教育委員会）
「五稜郭―幕末遺構の発掘調査と史跡整備―」
16：00～16：50　黒尾和久氏（国立ハンセン病資料館）
「近現代考古学の可能性―国立ハンセン病療養所における考古学的調査から―」
16：50～17：00　休　憩
17：00～18：00　討　論「近現代遺跡をフィールドに何をすべきか」
18：00　閉　会　閉会の言葉
（５月１日）
９：00～　エクスカーション（予定）

※発表のタイトルおよび順番は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※資料代として、1,000円を申し受けます。
※会員のほか、道民カレッジ連携講座に登録されている方や一般の方も参加可能です。
※研究大会閉会後、懇親会を行う予定です。詳細は当日ご案内いたします。
※エクスカーションの有無・申込方法は、詳細が決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

2016年度研究大会は登別市教育委員会との共催に
ー大島会長らが登別市長に協力要請ー

２月８日、本会の大島会長・澤井副会長・菅野総務担当委員が登別市役所を訪問し、小笠原春一市長に2016年度研究大会への協力を要請しました。小笠原市長は歴史分野にもたいへん関心をお持ちで、積極的な協力の意思を示され、研究大会は登別市教育委員会の共催とさせていただくことになりました。懇談の中では、登別市内各所での大会ポスター掲出・市民の関心を喚起するために考古資料やパネルの展示、市内の各種文化団体などへの周知などの案を出されました。本会としても登別市と連携して、大会をより実りあるものにしていく考えです。

登別市の皆様と
後列
中央右側：小笠原春一市長
中央左側：松橋學副市長
右から２人目：武田博教育長
ほか教育委員会の皆様
前列
右：大島会長
左：澤井副会長

2015年度遺跡調査報告会の実施報告

今年度の遺跡調査報告会は､2015年12月12日(土)に、北海道大学学術交流会館にて開催されました。2015年に道内で行われた発掘調査は60件で、その中から10遺跡・９件が報告されました。今年度は縄文時代を主体とする遺跡が多く、前期の盛土遺構を伴う集落跡の様子や（厚真町オコッコ１遺跡、木古内町幸

連４遺跡)、後期の貝塚から検出された埋葬人骨の詳細（室蘭市絵鞆貝塚）などが紹介されました。またオホーツク文化期のチャシコツ岬上遺跡では、墓壙の調査所見から埋葬方法の復元が試みられるなど、意欲的な発表がなされました。

当日は一般市民の方々も含め100名を超える来場があり、各発表者との質疑応答に熱のこもったやりとりがみられました。貴重なお時間を割きご準備いただいた発表者の方々に重ねて感謝申し上げます。なお、報告会終了後には恒例の懇親会が催され、和やかな雰囲気のなか、情報交換と交流が行われました。

〔発表遺跡〕①厚真町　オコッコ１遺跡
②千歳市　イカベツ２遺跡
③室蘭市　絵鞆貝塚
④森町　鷲ノ木遺跡
⑤函館市　垣ノ島遺跡
⑥木古内町　幸連３遺跡・幸連４遺跡
⑦北見市　大島２遺跡
⑧浜頓別町　ブタウス遺跡
⑨斜里町　チャシコツ岬上遺跡

会場内の様子

発表の様子

月例研究会のお知らせ

【今後の予定】

【第８回】３月19日（土）　15：00～，北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）W517教室

卒業論文・修士論文発表会：発表者・内容未定

高瀬克範（北大大学院文学研究科）：ステン・ベルグマンコレクション（ストックホルム）の日本・千島・カムチャツカ出土考古資料

大島直行：松木武彦『美の考古学』を読む

※内容などの詳細は、決定次第、ホームページでお知らせいたします。
※会員の皆様で、月例会での研究発表を希望する方は北海道考古学会事務局（hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp）までご一報ください。

新入会者のお知らせ

八重柏　誠（美幌町）　松井　昭（厚真町）　宮本　雅通（今金町）　＊敬称略

会員情報募集

現所在地が不明のため郵便物の届かない会員がいらっしゃいます。下記会員の連絡先をご存知の方は事務局までお知らせ下さい。また、会員各位におかれましては、住所変更等が生じた際には速やかに事務局にご連絡くださいますようお願いいたします。

牟田　日出彦　　田中　哲郎　　佐賀　康司　　上口　明子　　＊敬称略

ホームページのリニューアルについて

2015年11月17日に北海道考古学会のホームページをリニューアルしました。旧ホームページは2016年２月末以降閲覧できなくなりますので、ご注意ください。

新ホームページURL　http://haa.main.jp/cms/index.html

会費納入についてのお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770-6-8358　　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000円　（学生）3,500円

北海道考古学会だより　　第114号　　2016年２月29日　発行
発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://haa.main.jp/cms/index.html）
事務局：〒059-0014　北海道登別市富士町７丁目33-1
登別市教育委員会　社会教育グループ気付　北海道考古学会事務局
TEL　：(0143)88-1129
FAX　：(0143)85-9744
E-mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp
印　刷　北海道図書企画　　(011)668-1131